



No. 105 2021.4.13

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU
明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

2021年度（令和3年度）がスタートしました “社会がかわる 学びをかえる 人を育てる 人が育つ社会へ”

神戸新聞 NEXT より

小中学校で始業式

高丘小中一貫校開校



2021年度（令和3年度）がスタートしました。

コロナ禍の中いろいろと迷いながら勉強してきた1年でしたが、子どもたちが元気に登校する姿を見ることができ、ほっと

しました。入学式も小学校、中学校が工夫しながら実施することができ、ほっとしました。各校・各クラスで、子どもたちは“先生は？お友だちは？”とワクワクドキドキ、先生方も子どもたちとの出会いに向けワクワクドキドキ、どんな出会いにしようという知恵を絞られたと思います。

そんな登校する子どもたちの姿の中で靴の色、靴下の色、髪型、そして制服の変化から明石でも校則が動き始めたんだと感じました。こうした視点を変えて見直し、見つめていくことが「ありのままがあたりまえの学校づくり、ありのままがあたりまえのまち、だれもがあたりまえのまがあたりまえにいられるまちあかし」そんな“ありのままがあたりまえのまちづくり”にもつながっていくんだろうなと子どもたちの姿を見ながら感じました。

また、今年度から学びと育ちをつなぐ高丘小中一貫教育校がスタートしました。GIGA スクール構想のもと子どもたちには一人一台のタブレット端末が配られます。新しい時代に向け世界全体が動いています。そんな動きを実感しながら、これまでのやり方に当てはめるのではなく自分たちの頭で考え、創り出していくことが求められています。そこに「主体的で対話的な深い学び」で培われた力が必要になります。先生たちが“How to”に走ると「主体的で対話的な深い学び」の授業をめざします、本質を見つめていくと「主体的で対話的な深い学び」で身に付く、身に付いた力の活かし方をめざしていくのではと考えます。

経済産業省より「未来の教室通信」が配信されています 目指すのは、全国の先生がつながる「オンライン職員室」



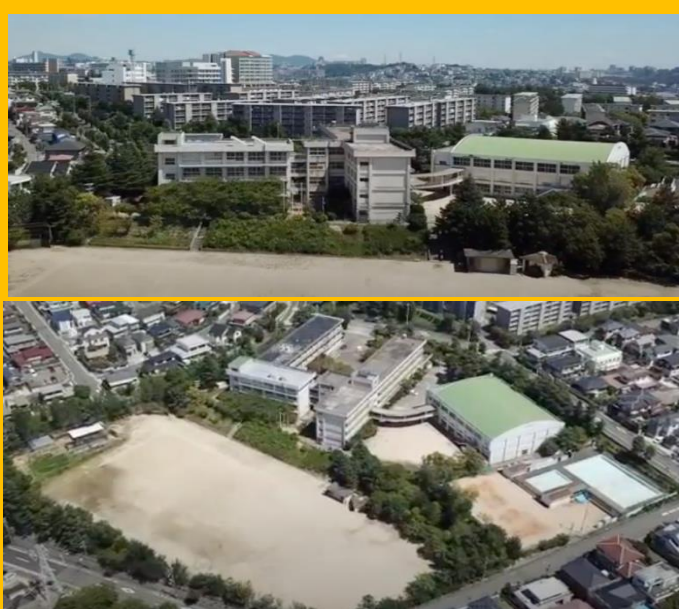
全国の先生がつながる「オンライン職員室」を目指して、経済産業省より「未来の教室通信」が配信されています。（現在 Vol.6）

一人一台の端末が整備された学習環境での「学びの個別最適化と STEAM 化」の実現に向け、全国の学校ですすめてきた実証事業や文部科学省とともに進める GIGA スクール構想を土台に全国の先生と子どもたちが創る「新しい学び方」のモデルが発信されています。先生方だけでなく、保護者のみなさんや地域の皆さんにもこれからの学びを考える資料として読んでいただけたらと思います

「未来の教室通信」：<https://www.learning-innovation.go.jp/newsletter/>

こんな寂しい春も
朝霧中学校として 松が丘南小学校として あかねが丘学園として
そして新たな時代に

取り壊しが進む松が丘南小校舎



2017年の夏にドローンで撮影されたものです。ドローン動画は松が丘小学校ホームページでご覧になれます。(動画ページ)

http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~el_mtgk/custom7.html

新年度がスタートする中、ちょっと寂しい光景が目に入ってきました。

朝霧中学校として、松が丘南小学校・幼稚園として、そしてあかねが丘学園として、子どもたちだけでなく高齢者の学びの拠点として活用されてきた校舎の取り壊しが進んでいます。

1970年(昭和45年)、大阪万博が開かれた年に朝霧中学校としてスタートしました。そして、1977年(昭和52年)に1975年(昭和50年)に松が丘小学校から分離・開校した松が丘南小学校が朝霧中学校と校地と校舎を交換し、移ってきました。1983年(昭和58年)4月には松が丘幼稚園から分離した松が丘南幼稚園が開園しました。人が増え、子どもが増えた1970年代から、子育て世代から、高齢化へと一足先に変化し、児童数・園児数が減少し、1998年(平成10年)3月に松が丘小学校・松が丘幼稚園、朝霧小学校・朝霧幼稚園に統合され、閉校・閉園となりました。その後高齢者大学あかねが丘学園として高齢者の学びの場と活用されてきました。そうした役目を終え、今年に入り解体工事に向けての足場がつけられ、解体工事がすすみ、あとは体育館が残るばかりとなりました。

1960年代の高度経済成長期を支える子育て世代のニュータウンとして生まれた明舞団地では学校がお寺や神社の代わりに、地域で人と人をつなぐ場としての役割を果た

していたように思います。役割を終えた建物がなくなり、その後に新たな人を迎える宅地として生まれ変わるという流れは、各地にあるニュータウンの中でも一歩先を行っているのかなと感じます。しかし、50年という人の一生よりも短い期間で校舎がなくなるというのは・・・。

それだけに地域づくり・まちづくりをとおして持続可能な人と人がつながる仕組づくりが必要だと改めて感じます。それが「SDGs 未来安心都市・明石」なんだと考えます。「こどもを核としたまちづくり」「すべての人にやさしいまちづくり」を支え、未来に向け持続可能な社会づくりを支えるのは教育だと改めて強く感じます。それだけに、未来を創り、社会を支える資質・能力を育む教育の質的改革・改善の手段として、人と人をつなげる仕組として、コミュニティ・スクールの果たす役割は大きいと考えます。

(文責：北本)